

保育おおさか

No. 463

平成 26 年 3 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

「保育の必要性の認定」が 付帯意見つきで合意

公定価格の議論も本格化

「幼保連携型認定こども園の認可基準」「確認制度」「保育の必要性の認定」については概ね合意されました。公定価格についての本格的な議論が、1月15日からスタートしています。主な内容は以下のとおりです。

保育の認定

認定基準が次のように策定されています。

- ①保護者の労働または疾病など保育を必要とする「事由」
 - ②保育必要量が長時間または短時間の「区分」
 - ③ひとり親家庭や虐待のおそれのあるケースなどについての「優先利用」
- 「事由」は、パートタイムや夜間など基本的にすべての就労に対応します。起業準備を含む求職活動や職業訓練を含む就学、虐待やDVのおそれがあること、育児休業取得時にすでに保育を利用している子どもがいれば継続利用が必要であることなど10項目の要件が明確化されます。

「区分」は、フルタイム就労に対応する保育標準時間（1週あたり30時間が下限。1日11時間利用を保障）と、パートタイム就労に対応する保育短時間（下限を月48時間、64時間で自治体が設定。1日8時間保育が利用可能）が設定されます。

確認制度

「新たな基準に基づく保育の実施に当たっては、保護者の就業実態に応じ、子どもの健全な育成を図る観点から必要な範囲で利用できるようなするとの制度の趣旨を周知し共通認識とすること」「多様な施設・事業者からの良質かつ適切な教育・保育・子育て支援の提供手段の確保およびそのための適切な支援」「子ども・子育て支援政策の充実のみならず、ワーク・ライフ・バランスを早期に実現していく」などの付帯意見つきで合意されました。

保育園が児童福祉法に基づく認可

などを受けていることを前提に、施設からの申請に基づき、市町村が、対象施設・事業として確認し、給付による財政支援の対象とします。

具体的には、給付の実施主体である市町村が、認可を受けた教育・保育施設、地域型保育事業所に対して、その申請に基づき、市町村事業計画に照らし、認定区分ごとの利用定員

を定めたうえで給付の対象となることを確認し、給付費を支払うこととなります。

認可基準

幼保連携型認定こども園にふさわしい「単一の基準」とされ、幼稚園と保育園の基準の内容が異なる事項は高い水準を引き継ぐことになりました。既存施設から移行する場合については特例が設けられ、新設基準に適合するように努力を促し、施行10年経過後に設置状況等を勘案し特例の内容が検討される予定です。

園長資格は、新設する場合は教諭免許状及び保育資格を有し、かつ5年以上の教育職または児童福祉事業の経験がある者が原則。同等の資質を有する者についても認められます。国は園長研修の実施体制を検討するとともに、すでに施行されている免許・資格を併有するための環境整備に努めます。

公定価格

設定として次の3つの考えが示され議論されています。

- ①人件費、事業費など対象となる費目を足していく「積み上げ方式」
- ②平均的な費用を実態調査で把握し計算する「包括報酬方式」
- ③人件費は「積み上げ方式」と事務費、管理費は「包括報酬方式」を組み合わせる



保育関係の仕事に関わる私は、やはり子ども好きである。

中高生の時にも、友だちに「絶対にこの中で一番に結婚して、早く子どもが欲しい」と言っていた。

それから10年ほどがたち、昨年それは実現した。

妊娠が分かったとき、安定期に入り、エコーに初めてその顔を見せてくれたとき、初めて手に胎動を感じたとき、検診の度に順調に成長していることがわかったとき……さまざまな方法で「ここにいますよ。待っていてね!」と訴えてくるような、小さな命。

そして、いよいよその時が来た。お母さんのお腹の中はどうだった? どんな十月十日の旅だったの? いろいろ訊きたいことがあったが、その瞬間、言葉は出ず、3人で喜びあった。「みずみずしく大きな稲穂のように育ってほしい」そう願い、わが子に名前を付けた。願いがかなったのか、今は「ずくずく」と言うより「ぶくぶく」と育っている。

(研修生T・T)

調査研究委員会からの報告

SIDSに関する今と昔の見解の違いについて



河野朗久氏

SIDS啓発グループ

1月23日、新梅田研修センターで大阪府監察医であり医学博士の河野朗久氏（河野外科医院理事長）による「子どもの安全を守るために―保育現場における法医学的視点」をテーマに研修会を開催、104人が参加しました。乳幼児の死亡につながる危険な要因として児童虐待・SIDS（乳幼児突然死症候群）などについて医学的視点から論及されました。

児童虐待においては、「良い親でありたい」など、多くの親の心理や、子育てのストレスから虐待へと変化す

ることを理解すること、また身体的な虐待を受けた子どもを客観的な身体所見を写真で記録することが大切であると指摘されました。その際のポイントは、①傷全体、②自然な体位、③傷に対して真正面、④ピンントを合わせるの4点です。

①哺乳力の低下、②噴水状に嘔吐する、③手足の痙攣やつっぱり、④脈の低下などの症状が見受けられた場合、救急隊員に脳内出血の可能性を伝えることで高確率で救命できるそうです。

SIDSに関する今と昔の見解の違いについても言及されました。昔は子ども自身に要因があり、回避で

きないものと思われていたが、現在では外的要因があるという考え方が主流で、その原因も、かつてはその可能性が一番低いとされていた窒息が多くを占めるそうです。口や鼻が塞がっての窒息ではなく、うつ伏せ寝（単体では要因にならない）・乳児特有の静かな呼吸や寝具環境が密接に関係

過去5年のデータから待機児童数は都市部でも減少傾向

資料集編集グループ

今年も関係各位のご助力のもと「保育関係資料集」が発刊されました。

府内市町村の保育施策の実施状況、待機児童数、補助金額など比較検討できる資料集で、市町村単一の動向のみならず、府内の市町村の動向を併せて確認することができると、さまざまな活用方法があります。待機児童の観点で見ても



真剣に聞き入る参加者

し、乳児の周辺に二酸化炭素が充満することにより窒息するということです。対応策としては、子どもをしっかりと見守ること、乳児の周りが常に新鮮な空気で溢れるよう部屋や寝具環境の整備が重要ということ

す。保育士の専門性について、「時間とともに変化していく事実迅速に対応しなければならぬ。子育てと虐待は表裏一体のものであることを認識する。保護者に寄り添う視点を併せ持ち保育を行うことが重要」と強調されました。

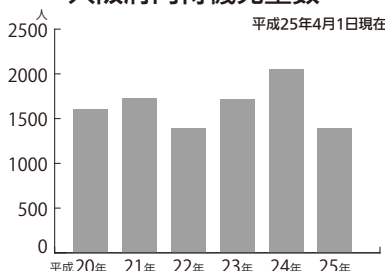
日々の保育が親の育児負担を軽減し、子どもたちの虐待防止や命の安全につながっていることを高く評価され、研修会を終えました。（調査研究委員会N・H）

があり、1800人未満の町村では待機児童がない。待機児童のいない17市町村の保育所入所児童数をみると、10の市町村が保育所総定員数を下回る入所児童数となっている。

待機児童数の5年経過増減を表すグラフでは、昨年まで増加傾向だった待機児童が減少しているのがわかる。

以上のことから、待機児童は市街地・都市部の3歳未満児に集中し、減少しずつあること。就学前人口の

大阪府内待機児童数



諸先生方におかれましては、それぞれの地域の保育ニーズに着目し、保育所運営のご参考にしていただければ幸いです。（調査研究委員会I・K）

「やってできないこと」 はない！

日々の活動にみえる
工夫と取り組み

茨木市

あいの三島保育園



ピアノの演奏

保育園では、日々の子どもの活動にとっても力を入れておられます。広い園庭を全て使って行うドロンこ遊びや運動会での組体操に、跳び箱や縄跳びなど専門講師による体育指導、ピアノ演奏やバチうち、リズムといった音楽指導などです。

あいの三島保育園は平成19年に設立されました。園では藍野療育園や藍野大学という、同じグループ内の医療・発達支援に通じた施設と連携され、さまざまな発達への支援への配慮が行われていきます。



みんなで楽しむクッキング

一人ひとりの子どもに合った配慮を行うためには、子どもの毎日の行動を細かく見ること、今できることやその日にできたことを確認することが大切です。それらについて考え、勉強し・計画し・実践すること、子どもの持つ力、子どもの持っている力が伸びていきます。

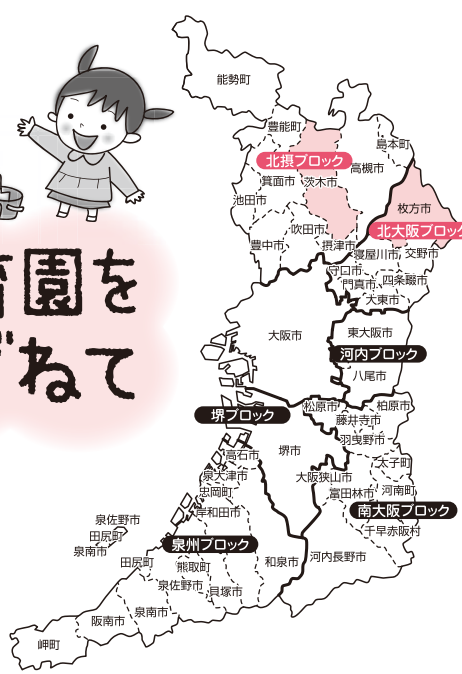
「子どもにやってできないことはありません。時間がかかることはあっても、皆ができるようになるのです」と北村千香子園長は仰っていました。

(編集委員 T・N)



保育園を
たずねて

488



くずは光の子保育園は、枚方市の北部にあり、社会福祉法人イエス団の一員として今年40年目を迎えます。法人本部は神戸にあり、近畿・四国圏で保育園や児童施設、高齢者施設など約40の施設を運営しています。当園は90人定員でしたが、平成14年に建て替えを完了し30人の定員増。2年後、待機児童解消の要請もあつて、さらに定員増を図り、現在の定員は150人です。

キリスト教保育を基本に据えた園の保育目標は「あ

七夕やお餅つき、豆まきなど、日本の昔ながらの季節行事を大切にしながら、キリスト教の教えや礼拝を守っています。

クリスマス祝会の舞台上で演じられる「クリスマスページェント（キリスト降誕劇）キリストの誕生にまつわるさまざまな場面」では、子どもたちと保護者がともに参加し、クリスマスと一緒に祝います。演じる、見る、聴くことを通して、クリスマスの由来や教えを伝えていきます。

他にも、花の日やハロウィン、収穫感謝祭などもあり、クリスマス同様、自



持ち寄った野菜で豚汁クッキング



果物・野菜を持ち寄って収穫に感謝

(編集委員 J・H)

「ひかりの子として歩む」

昔ながらの行事大切に
由来や教えを伝える

枚方市

くずは光の子保育園

全職員でかかわる 少人数保育追求

マラソン、乾布摩擦で
丈夫な身体づくり

東大阪市

うみがめ保育園

保育の内容は丈夫な身体づくりを目指して、マラソンや乾布摩擦などの裸保育

「全園児のことは全職員でかかわる」を保育方針に、それを実現するためには少人数の保育園が理想的と考えられています。姉妹園の「おりづる保育園」も定員を増やさずに、定員60人の保育園を新設されたそうです。

お母さんが浜辺で涙を流し、卵を産む「うみがめ」。孵化した子亀たちは大海へ出ていき、いろんなことを経験し、また同じ浜辺へと帰ってきます。保育園もそんな浜辺のような場所でありたいという願いも込められています。「おりづる保育園」の「つる」と「かめ」で縁起が良いことから名づけられました。

保育の内容は丈夫な身体

づくりを目指して、マラソン

や乾布摩擦などの裸保育



▲職員が工夫して作ったネームプレート



トイレにも可愛いクロス

(編集委員K・M)

を取り入れています。また、木田英嗣理事長が栽培された野菜を収穫・調理し、食への関心を高め、偏食などを減らせるように努力されています。

永

寿台保育園は貝塚市の山手に位置し、

春には桜並木、秋には銀杏並木が彩を添える季節折々の景色をまとった保育園です。

園内も緑豊かな木々が植栽されており、春は桜の木の下でお花見、藤棚の下でお砂遊び。夏はさるすべりの花が満開になり、秋には銀杏やどんぐり拾いに夢中です。冬は椿の花が鮮やかに咲き、南国椰子が青々と茂り子どもたちを温かく包んでくれます。

子どもたちの成長の喜びを糧に地域とともに地域に根ざした保育園を目指していきます。

(編集委員Y・S)



自然豊かな園庭

自然豊かで広々とした園

事も盛んで、地域や

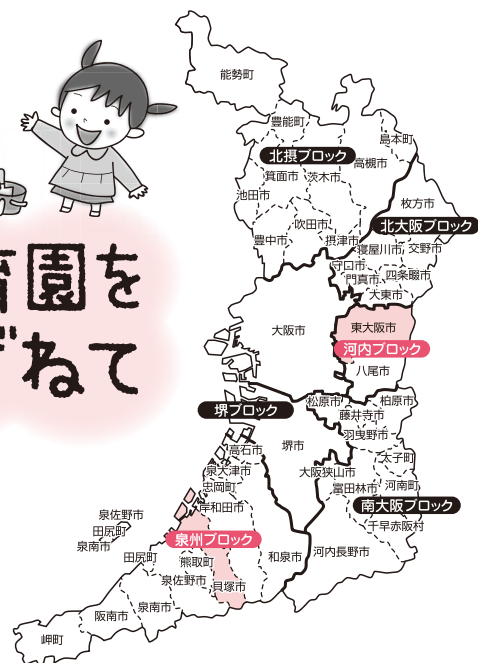
園行事も多彩で、行事を重ねるごとに子どもたちの成長を感じた保護者からうれしい声をいただきます。

地域との交流行事も盛んで、地域や



保育園を
たずねて

489



子どもたちの好奇心を育むきっかけづくりを大切に保育しています。造形教育や食育を目的とした菜園の運営、音楽活動や体育指導も積極的に取り組んでいます。就学前の学習にも力を入れ、さらに小学校生活にスムーズに移行できるよう「小1ショック」「小1の壁」などの問題に対しても取り組みをしています。

たくさんの体験が
子どもたちを成長させる

地域の中で
より多くのつながりを

貝塚市

永寿台保育園



みんなとっても元気です♪



リスクマネジメント
わが園の取り組み

保育方針の浸透と スタッフの負担軽減

とりかいひがし保育園の リスク対策

主任保育士の西山由紀先生にお話を伺いました。普段のリスクマネジメントの心がけとして大切にされているのは、次の5点です。

1. 些細な事故でも現場で 検証する

習慣化することは、難しいことです。実際の事故には、言葉ににくい複雑な要因もあります。例えば、先生の立ち位置や子どもの友だち関係、職員間での勘違い、建物の不具合箇所など、現場を見て初めて気づくことが多くあります。保

育の現場のことを、短時間の言葉の伝達では共有できないことをあらかじめ認識しておくことが大切です。ましてや、情報をうまく説明できないことを責めるようなことがあってはならないと思います。

2. 職員の意識に 頼らず、具体的 な仕組みを つくる

リスクを感じた



「現場で事件は、起きている！」

際の対処として重要なポイントがあります。それは、「職員の心がけ（意識）」の問題にしないということ。

例えば服薬忘れがあります。が、当園ではなぜスタッフが忘れたのかを考えるのではなく、薬について思い起こさせる仕組みをどうすれば作れるかを考えるようにしています。そのため、服薬のことを思い出すための目覚まし時計を各クラスに備えました。対策の道具の購入には、「100円ショップ」も強い味方です。保育園の仕事は非常に忙しい仕事で、普段から子どもに対して意識しないといけないことが多いように思いま

す。その負担を少しでも小さくすることがリスク回避の一番の方法だと感じています。

3. 打ち出した対策の見直し 期限を設け、さらに 見直す

その後、同様の事故の可能性が低くなっても、講じた対策を継続していたことがあります。例えば、園児AとBが身の危険を感じるほどの激しい喧嘩を頻繁にした際、保育中は2人を離すように対応したのですが、2カ月以上も見直されなかったことがあります。子ども同士の関係は、日々変わり、見直す場を設けることが大切です。見直しの機会として毎月のクラス会議を活用しています。

4. 即座に周知し、保護者の 予想よりも一歩早い 処理を進める

事故発生後、二重三重の事故につながることを避けるため、職員間や保護者には当日内に事故を周知することを心がけています。これが遅れると、職員間には情報が共有できなかったことへの不満に、また保護者には不信任につながりま

す。事故の大小にかかわらず、職員や保護者の予想よりも一歩早く踏み込んだ対応を取ることが、保育園の信頼を獲得するチャンスと考えます。

5. リスクに備 える輪を保 護者にも広 げる

当園は、子どもたちが「あそび」と「まなび」を豊富にできること、子どもの主体性を引き出す保育を大切にしています。そのためには、保育園の職員だけではなく保護者の理解・協力を得ることが大切。普段から、保護者に子どもの成長に応じたリスクの話をしていくことが必要です。例えば、1歳の子どもが滑り台を自分でできるようになった喜びを保護者と共有する際、成功したのは「これまでにたくさん失敗をする経験を積みあげたから、できるようになりました」「できることが増えたために、こんな危険が増えました。そ



100円ショップはアイデアの宝庫！

のため、私たちはこんな心配をしています」というような意味づけを説明しています。保育の基本方針がさまざまな場面で伝われば、さらにリスクに強い保育園となり、もっと思い切った保育ができるのではないかと考えるからです。

とりかいひがし保育園がリスク対策の基本に据えているのは「あそび」と「まなび」を大切にしている保育方針の浸透やスタッフの負担軽減で、保護者や園児が幸せになることを目指しているところにあるように感じました。

（編集委員M・H）

北摂

松井るり子氏に

魅了された研修会

1月17日、絵本の翻訳と、子育てや絵本について多くの著作がある松井るり子氏を招いて研修会を開催。保育士は、対人間の仕事です。「この人の話なら聞きたい」、そんな雰囲気を持った

松井氏。絵本の紹介と子育てで大切なことについて、たくさんさんの興味深いことを語られました。

絵本紹介の中で、私が特に興味を持ったのは「こわがりのかえるぼうや」(徳間書店)。

絵本の内容は、かえるのジェロームは、とてもこわがり。今日もひとりでベッドに寝ていると、何だか変



松井るり子氏

な音が。「こわいよお」とパパの所へ。ジェロームと一緒に変な音の原因を探しに行くパパ。夜の暗闇を怖がるジェロームの気持ちを受けてとめるパパ。心温まるお話です。

松井氏の言葉で心に残ったのは、「大人が好きでな

い絵本を選んで我慢して読むと、子どもは絵本は我慢しなければならぬもの」と受け取ってしまいが「目で見えて理解することより、保育者の心の動きや使い方が大事なんだと感じました。お話を聞いて初めて理解でき、今後の保育を進める上で、とても大切なことを学びました。他にも、折り紙やミッロウ粘土でバラを作ったり、実技と講義に充実した時間

を過ごすことができました。松井氏の雰囲気魅了された研修会でした。

(浦堂保育園S・H)

南大阪

保育士の笑顔が第一

新任フォロワー研修

2月10日、LICCはびきので、安宮千恵子氏(株)日本総合音楽研究関西支社)を講師に新任フォロワー研修を開催しました。

この一年間を振り返った思いと、来年度クラスへの意気込みを、参加者一人ずつ前に立つて発表。40人ほどを前にしてとても緊張しました。

続いて安宮氏が「保育」について概説。業務や行事をこなすだけで懸命の一年間でしたが、改めて「保育」について気づかされる



グループワークで情報交換



一年を振り返って発表

育士自身の生活習慣が整っていないと、子どもを見ることができません。子どもを人として育てる義務がある私たち保育士は、その模範とならねばなりません。保育士一人ひとりが園の看板を背負っていることを認識し、自信と誇りを大事にし、子どもや保護者に向き合わなければなりません。

保育士が笑顔でいることが第一。子どもが楽しく登園し、楽しく園生活を過ごすことで保護者も安心します。挨拶では【あ】明るく【い】いつも【さ】先に【つ】常に、を心掛けましょう。今後、後輩も入ってきます。理想と現実のギャップを伝えるのも良いことです。「今、何をすべきか、自分が経験したことをわかりやすくしっかりと伝えましょう」と結ばれました。

(高屋保育園Y・K)

旬

白酒飲めない子に

白いカルピス、今年も

三寒四温、水ぬるむころ。さあ、忙しなるで！

る。自分さえ良ければという島国根性が国の往く末を阻害していることは事実。さあ今年、5%のうちにモノ買おうと

まつりを過ごしてほしい」との思いを込め1963年から実施、今年50回。カルピスで乾杯した全国の保育園・幼稚園の子どもは一億人を突破。人数と価格を電卓で叩けば、凄じ数字になる。気にな

PRではない、と感じた。来年も引続き行われるようであり、カルピス食品が今後とも繁栄されんこと、GH傘下にあるが、親会社が創業者の精神に大いなる理解をされんことを望む。

オリンピックフィニッシュの真央ちゃんの涙に、夜中にこちらも涙し大拍手を贈った。4月から消費税が8%に。去年6月末の国の借金千兆円、国民一人当たり800万円。これに地方自治体の借金を加えると一人1千万円は下らんだろう。何故ここまで来たのか？ 日本人特有の島国根性で、政治家が税金を上げる

という国会で野党が反対。また、選挙で落とされる。判つていても誰も言わない。外国では高い消費税を国民も納得しているのかは知らないが、北欧は税が高くとも老後は国がみくれるから当然という話を聞いたことがあ

ちに贈られ、大変ありがたく感じているところ。創業者三島海雲(明治11年生・箕面市)が、子どもの心と体の健やかな成長を願って「白酒の飲めない子どもにも白い色の『カルピス』で乾杯し、楽しいひな

る方はネットで「三島海雲」と検索してください。明治人の気骨溢れた方で、「国利民福私心を離れよ。そして大志を持て」と、寺で生まれ育った宗教家らしい思いを持った方。このプレゼントは、一企業の

で、寒さで固まった体をほぐす。ぼちぼち春の鉢物が園芸店の店先を飾る。来年度の予算事業計画も財務諸表HP掲載も、認定こども園が保育園で残るか？さあ、忙しなるで！

(H・N)